

京都府立城南菱創高等学校英語科 CAN-DO リスト						
レベル（CEFR-Jを参照）		聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと
				やり取り	発表	
B2	第3学年	○社会的な話題について、自然な速さで話される英語話者同士の会話の要点を理解することができる。身近な話題であれば、複雑な議論の要点を理解することができる。	○幅広い社会的な話題についての記事等を、背景知識と関連させてスキミングやスキミングといったスキルも用いて、文章の展開を推測しながら辞書を使わずに理解することができる。語句の注釈等がある英字新聞等から、興味のある記事を読み概要を理解することができる。	○社会的な話題について、即興で相手に伝えるように説明したり、自分の意見を伝え合ったりすることができる。 ○社会的な話題について、課題などを明確にして即興で詳しく伝え合うことができる。また、それらをディベートやディスカッションへと発展させることができる。	○社会的な話題について、明瞭かつ論理的に自分の考えを聴衆の前で伝えることができる。 ○発表した内容について、質疑応答をしたり、意見を伝えたりすることができる。	○社会的な話題や抽象的な内容について、自分の立場を明らかにした上で、明確で論理的な文章構成のまとまった分量の英文を時間内に書くことができる。幅広い表現を使って、自然な文章を書くことができる。 ○電子メール、エッセイ、レポートなどを、それぞれの用途に合った文体で書くことができる。
	B1.2	○ややゆっくりとした自然な速さで話されれば、ある程度社会的な話題についての長い会話や説明の概要を理解することができる。	○社会的な話題の英文を読んで、文章の構成を意識しながらパラグラフリーディングの手法も積極的に活用し、自分の意見と対比させながら読むことができる。	○ある程度社会的な話題について、即興で相手に伝えるように説明したり、自分の意見を伝え合ったりすることができる。 ○ある程度社会的な話題について、課題などを明確にして即興で詳しく伝え合うことができる。また、それらをディベートやディスカッションへと発展させることができる。	○ある程度社会的な話題について、明瞭かつ論理的に自分の考えを聴衆の前で伝えることができる。 ○発表した内容について、質疑応答をしたり、意見を伝えたりすることができる。	○ある程度社会的な話題や抽象的な内容について、明確で論理的な文章構成である程度まとまった分量の英文を時間内に書くことができる。幅広い表現を使って、ある程度自然な文章を書くことができる。 ○電子メール、エッセイ、レポートなどを、それぞれの用途に合った文体で書くことができる。
B1.1	第1学年	○やや社会的な話題について、必要に応じて調整された速さで話されれば説明の概要が理解できる。なじみのある発音であれば、自分の周りで話されている少し長めの議論でも、要点を理解することができる。	○ある程度社会的な話題の英文を読んで、内容の要点を理解することができる。また、書かれている内容だけでなく、辞書や視覚などの援助があれば書かれていない事柄についても想像を膨らませることができる。	○良く知っている社会的な話題や、日常的な話題について即興で説明したり、論理的構成を考えながら、それに関する自分の考えを伝え合うことができる。	○良く知っている社会的な話題について、段階を踏みながら、明瞭かつ論理的に自分の考えを聴衆の前で伝えることができる。 ○発表した内容について、質疑応答をしたり、意見を伝えたりすることができる。	○良く知っている社会的な話題や抽象的な内容について、比較的明確で論理的な文章構成である程度まとまった分量の英文を時間内に書くことができる。
A2.2		○やや社会的な話題について、ゆっくり、はっきりと話されれば、説明の概要が理解できる。なじみのある発音であれば、自分の周りで話されている少し長めの議論でも、要点を把握することができる。	○よく知っている日常的な話題についての英文を読んで、本文に書かれた内容を把握し、段落ごとのつながりを理解しながら、本文の要点を理解することができる。	○日常的な話題について即興で説明したり、論理的構成を考えながら、それに関する自分の考えを話し合うことができる。	○日常的な話題について、段階的な手順を踏みながら、情報や考えなどを根拠とともに分かりやすく発表することができる。 ○発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	○日常的な話題であれば、自分の考えやその理由を明確にしながら、適切な段落構成である程度の分量を時間内に書くことができる。
A2.1		○ゆっくり、はっきりとなじみのある発音で話されれば、日常的な話題や学習した内容に関する短い会話や説明を理解できる。	○日常的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を理解できる。 ○ある程度社会的な話題について、必要な情報を読み取り、概要や要点を把握できる。	○良く知っている日常的な話題について即興で説明したり、それに関する自分の考えを話し合うことができる。	○良く知っている日常的な話題について、段階的な手順を踏みながら、情報や考えなどを根拠とともに分かりやすく発表することができる。 ○発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる	○良く知っている日常的な話題であれば、自分の考えを明確にしながら、ある程度の分量を時間をかけて書くことができる。
A1		○ゆっくり、はっきりと話されれば、短い簡単な指示や身近な話題を理解することができる。	○日常生活で見かける英文の中にある絵や図表などを頼りに、文章の大意を把握し、書かれている内容を理解することができる。	○自己紹介などの日常的な身の回りのことについて即興で、短い簡単な説明をすることができる。	○自分自身のことや、興味・関心のある事柄であれば、短い文を使って聴衆の前で発表することができる。	○自分自身のことや、興味・関心のある事柄であれば事前の準備や多くの支援を活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張など正確性や構成を工夫して相手に伝わる文章を書くことができる。